

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	老人福祉事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課					
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	石井 由美子					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	各種高齢者福祉サービス事業に係る市民	意図	高齢者福祉事務を遂行するための経費とする
事業内容	高齢者生きがい推進、高齢者給付及び在宅給付に係る事業に要する事務的経費、高齢者福祉に係る臨時的、突発的事務事業に対し迅速に対応できる。			
事業開始から現在までの状況変化	高齢化の進展により高齢者福祉ニーズが高まった。高齢者福祉サービス事業が時代の経過とともに変化するものと思われる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	65歳以上人口（4月1日現在）	42,411	43,629	44,599	
②	高齢化率（65歳以上/総人口）	23.90	24	23.80	%	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
65歳以上人口は、前年度比2.2%増加となっている。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	233,925	162,000	174,919
事業費(b)(円)	165,275	94,880	108,999
うち一般財源	165,275	94,880	108,999
職員給与費(c)(円)	68,650	67,120	65,920
人役・職員(人)	0.01	0.01	0.01
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	会議資料等必要な枚数に努める。また、両面印刷や縮小印刷を行い極力印刷枚数を減らす。	③取組における課題(Check)	高齢者の増加に伴い、各種サービスの案内等の印刷数が増加しているのが現状である。
②H30に実施した取組(Do)	消耗品を効率よく使用し、支出を抑えた。印刷も極力両面印刷等を行った。また、事務室の執務環境について、整理整頓に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	引き続き印刷は必要な枚数に留める。また、両面印刷や縮小印刷に努める。消耗品等を効率よく使用し、支出を抑えるようにする。